

28th Biennial of Illustrations
Bratislava
in Japan

©しおたままこ



絵本で

ひろくアジアの扉

韓国・日本をめぐって

足利市立美術館
Ashikaga Museum of Art

ブラチスラバ 世界絵本原画展

主催 足利市立美術館、朝日新聞社 後援 駐日スロバキア共和国大使館、絵本学会
協力 スロバキア国際児童芸術館(BIANN)、
一般社団法人日本国際児童図書評議会(JIBBY)、韓国国際児童図書評議会(KIBBY)、
公益財団法人足利市みどり文化・スポーツ財団、一般財団法人おもい・つむぎ財団

2023

4.15(土) → 6.4(日)

開館時間= 10:00~18:00(入館は17:30まで)
休館日=月曜日
観覧料=一般710(560)円/
高校・大学生500(400)円/中学生以下無料

*○内は20名以上の団体料金 *各種障がい者手帳をご提示の方と
その付添者1名は無料となります。 *「あしかがいきいきパスポート」を
お持ちの方および両毛広域都市圏内にお住まいの65歳以上の方は無料
です(住所・年齢を確認できるものをご提示ください)。
*第3日曜日「家庭の日」(4月16日、5月21日)
は、中学生以下のお子さまを同伴のご家族
は無料となります。 *5月18日(木)は「国際
博物館の日」のため観覧無料となります。

上から:しおたままこ《たまごのはなし》(部分)
2020年(BIB2021金牌)/イモノンエ《明日は晴
れるでしょう》(部分)2017年(BIB2021金のりん
ご賞)/いづれも作家蔵



©Lee Myung Ae



2 ©松本大洋

絵本でひらくアジアの扉

ブラチスラバ世界絵本原画展

28th Biennial of Illustrations Bratislava in Japan

韓国・日本をめぐって

3 ©Jeon Mihwa



4 ©Han Byung-ho, Borim Press

「ブラチスラバ世界絵本原画展」(英語名=Biennial of Illustrations Bratislava)は、スロバキア共和国の首都ブラチスラバで2年ごとに開催される、世界最大規模の絵本原画コンクールです。本展では、2021年10月から翌年2月にかけて現地で開催された第28回展(Biennial of Illustrations Bratislava 2021)の参加国より、近年の活躍がめざましいアジア諸国に焦点をあて、中でも隣り合うふたつの国、日本と韓国のいまをこ紹介します。第1回展より参加する日本は、数多くの作品を送り届け、受賞作家を輩出してきました。そして、近年の韓国の作品は、絵本の可能性を押し広げようとする多様さを持ち、世界から注目を集めています。

会場では、BIB 2021に参加した日本と韓国の作家による全出品作と絵本をご覧いただく他、絵本が生み出され読者に届くまでの背景を取材した特集展示、グラウンプリ他各賞受賞作家の作品をパネルと絵本によりご覧いただけます。

1 きくちちき《おひさまわらった》2021年/2 松本大洋《ごんごんとん》2018年/3 ジョンミファ《そんなある日》2019年/4 ハンビョンホ《母の島》2019-2020年

足利市立美術館



足利市立美術館 Ashikaga Museum of Art
〒326-0814 栃木県足利市通2丁目14-7
TEL 0284-43-3131 FAX 0284-43-3133
WEB. http://www.watv.ne.jp/~ashi-bi

近隣美術館のご案内

草雲美術館
「草雲と門人『足利切通之図』のリアル」
4月8日(土)~5月28日(日)
詳細は草雲美術館(足利市緑町2-3768/TEL 0284-21-3808)までお問い合わせください。

群馬県立館林美術館
「夢と自然の探求者たち——19世紀幻想版画、シュルレアリスム、現代日本の作家まで」
4月22日(土)~6月25日(日)
詳細は群馬県立館林美術館(館林市日向町2003/TEL 0276-72-8188)までお問い合わせください。

交通案内

電車=JR両毛線「足利駅」、東武伊勢崎線「足利市駅」下車、徒歩10分
バス=足利市生活路線バス「美術館前」下車
車=北関東自動車道「足利I.C.」より15分、「太田・桐生I.C.」より20分、東北自動車道「佐野・藤岡I.C.」より40分

*お車でお越しの方は下記駐車場が無料でご利用いただけます。美術館前広場駐車場、美術館通り駐車場(徒歩1分)、美術館駐車場(徒歩2分)、たかうし広場駐車場(徒歩3分)、通2丁目多目的広場(徒歩3分)、太平記館観光駐車場(徒歩7分)

関連イベント

オープニングトーク
「たまごのはなしの話」
出演=しおたにまみこ(出品作家)、沖本敦子(編集者)、当館学芸員
日時=4月15日(土)15:00~16:30
場所=足利市立美術館多目的ホール
定員=30名(電話[0284-43-3131]で事前申し込み)
*展覧会をご覧になる際は観覧券が必要です。
*終了後、サイン会を予定しています。

トークイベント
「韓国絵本の魅力とこれから」
講師=申明浩(武蔵野美術大学講師)
日時=5月7日(日)14:00~15:30
場所=足利市立美術館多目的ホールおよび展示室内
定員=30名(電話[0284-43-3131]で事前申し込み)
*講演後に展示室内でギャラリートークを行いますので、ご参加には観覧券が必要です。

小さなお客さんとたのしむ
「日本と韓国の絵本」
——0歳から1歳までの美術館体験

日時=5月15日(月)
①10:00~11:00(0歳(1歳未満)のお子さんと保護者対象)
②13:30~14:30(1歳(2歳未満)のお子さんと保護者対象)
定員=各回4組

お申し込み方法=電話[0284-43-3131]かメール[ashi-bi@watv.ne.jp]で事前申し込み。その際、①希望参加日時、②乳児の氏名(ふりがな)・月齢(参加希望日時点)、③参加する保護者の氏名(ふりがな)、④郵便番号・住所、⑤電話番号、⑥応募動機(簡単に)をのりなくお伝えください。(メールでお申し込みの場合は、件名に「0から2歳までの美術館体験の申し込み」と入れてください) / お申し込みは5月7日(日) / 参加無料(ただし、保護者の方は観覧券が必要です)。
*1歳以上の兄弟姉妹の同伴には、参加者以外の保護者の付添が必要です。/ 休館日のため、参加者以外の方の入館はできません。/ 応募者多数の場合は抽選の上、結果を後日お知らせします。(締め切り後でも、定員に達するまで受け付けておりますので、電話でお問い合わせください) / 前向き抱っこができる抱っこ紐があると楽にまわれます。/ 当日は、授乳やおむつ替えができるスペースがございます。

学芸員による鑑賞ワークショップ
日時=5月13日(土)14:00~15:00
*参加ご希望の方は本展観覧券をお持ちの上、美術館入口受付前にお集まりください。

学芸員によるギャラリートーク
日時=4月29日(土・祝)、5月27日(土)
各日14:00~15:00
*参加ご希望の方は本展観覧券をお持ちの上、美術館入口受付前にお集まりください。

決定!
あしかが子ども審査員賞
BIBの「子ども審査員賞」にちなみ、展示作品の中から投票でみんなのお気に入りを選びます。中学生以下の方に、受付で投票シールを配布します。
*投票期間=5月21日(日)まで

*新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、本展および関連イベントを変更または中止することがありますので、ご理解のほどお願いいたします。当館ウェブサイトで最新情報をご確認ください。